

特別会計

療養費の直診外が増加するわけは

国保会計

問 療養給付金で国保葛巻病院以外の支払いが増加している理由は何か。

答 葛巻病院にない専門診療科に通院する場合や、救急治療の必要な患者さんの町外受診が増加したものです。

不納欠損金が多額になっっているわけは

国保会計

問 不納欠損金を計上しているがどのような状況か。

答 地方税法の規定に基づき対処した。支払能力がなく相続人が死亡していたためです。

問 県の滞納整理機構に加入している目的は何か。また、不納欠損処理を進めるような指導になっっていないか。

答 目的は機構と市町村が共同で滞納整理にあたることです。それぞれの市町村に入って滞納処分をしているところもあります。また、研修のために市町村が機構に職員を派遣しノウハウを吸収



夜間の電話催告 (ご理解をおねがいします)

問 理由付けがあれば毎年キチンと不納欠損処理をすべきでないか。そうすれば現年度分を処理するこ

答 現年度分に関しては10年前から行方不明者であり、家族と協議をしたが、家族も施設に入所し支払いが困難でやむを得ないものでした。また、不納欠損処理が3年ぶりというのですが執行停止をかけたものが納税できる状態でないという調査結果から不納欠損処理対象となりました。

して戻ってくることもあり、本町では、滞納整理の方法等を勉強している状態です。

問 現年度分を不納欠損処理した理由は何か。

また、平成15年以來3年ぶりであるが一度に多額の処理をしようとしていないか。

答 現年度分に関しては10年前から行方不明者であり、家族と協議をしたが、家族も施設に入所し支払いが困難でやむを得ないものでした。

問 滞納整理の方法等を勉強している状態です。

賛成討論 鈴木満

一般会計歳入歳出決算及び5件の特別会計決算について、賛成します。

本町は、小泉内閣の「三位一体改革」の影響から続く地方の景気低迷、都市との格差拡大という、弱まることを知らない逆風の中に立ち、「自立に耐えうる持続可能な町づくり」を目指しているところです。

こうした観点に立って一般会計の状況を総括します。歳入では、削減が続く国県補助にあっても積極的に補助事業の導入に取り組み、特別交付税も必要な収入確保に努力した成果が見られます。歳出では、組織の見直しを図り

とはないと思うのだが。

答 滞納者については長期滞納者も含めて個別にカードを作成し、月々の収納の約束や徴収計画を立てて徴収にあたっています。

毎年、毎年一人ずつという状況にあるのか現状把握をしっかりとやりながら今後さらに対応していきます。

人件費の抑制に努め、行政改革を着実に進めています。

また、一昨年の大雨災害による災害復旧に向けては、町単独で農地災害復旧対策事業を実施し、国庫補助による災害復旧事業と併せて順調に事業を進めました。原油価格高騰の影響に対しては、「町ぬくもり助成事業」を実施し、高齢者の方々等への日常生活支援を講じました。

一方、本町の重要課題である情報格差是正に向けた取り組みとして移動通信用鉄塔施設2基を完成させ、携帯電話通信エリアの拡大につなげています。

次に、特別会計ですが、各会計ともに予算の趣旨に沿って執行されており、所期の目的が概ね達成されていると判断します。特に国保会計、病院会計においては、赤字決算を懸念していましたが懸命の努力により単年度収支を黒字にしています。

その結果、財政健全化法に基づく、「連結赤字比率はゼロ」、「資金不足比率が生じた事業会計なし」は評価します。

しかし、国保会計の基金残高の回復等、いくつかの懸念する課題が見受けられますが今後の取り組みに期待します。

魅力ある葛巻高校の支援策は

あらゆる要望を積極的に支援



山岸はる美議員



10月12日葛高祭では大勢の出迎え

議員 葛巻高校は分校か、閉校かの危機です。来年度60名確保の支援策を問う。

①親と子が葛巻高校入学を希望する魅力づくりが必要です。生徒の送迎、お弁当作りが大変で盛岡方面へ下宿させたという声を聞きます。そこで、給食、食堂の設置等を後押しする考えはないのか。

②葛巻高校生の進学、就職について町としてどう支援されてきたのか。

町長 ①13年に組織した葛巻高等学校振興協議会を通じて、遠距離通学生徒助成や芸術鑑賞会、広報「よいつこ」発行などの魅力ある学校づくり事業を支援しています。

給食支援については、伊保内、大野、種市高校では給食が実施されています。今後保護者と生徒のアンケート調査、さらに県立の施設であることから県側の了解等条件がそろい次第、早急に学校給食導入に向けて検討します。

②19年度の卒業生を含め6年連続して進学、就職達成率100%になっています。就職については、19年度の卒業生40名中15名であり、7名が町内就職ということも特筆されます。

進学支援は「葛巻育英奨学会」と「三浦梧楼育英奨学会」で無利子の貸付制度があります。

就職支援は、産業団体や第三セクターにも協力を求め、本校を卒業した生徒が社会での優位性が発揮され、職業選択や大学進学に活かされるシステムの確立を県教育委員会と協議しながら可能性を探ります。

酪農家の生産意欲を高める施策は

議員 厳しい農業情勢の中、各酪農家は営農努力をしてきました。18、19年は生乳の減産計画を実施し、20年は増産型に切り替えまし



ただいまサイロづめ真っ最中

国の政策に随時要望を

だが、生産現場においては、直ちに切り替えができないのが実情です。そのような中で国ではバター5千トが緊急輸入されます。農家数も減少している中で、安易に輸入依存するのはさらに酪農情勢を悪化させます。生産意欲を高めるために、東北一の酪農郷のトップとして安定した農業政策を提言していく考えはないのか。

町長 本町では15年以降乳用牛の頭数が減少し、生乳の生産量も減少傾向です。町として酪農経営現場の改善を図りながら、酪農家に不利な政策が行われないように要望します。